

## 時には血液の病気も

子どもの鼻血の大半は、圧迫すれば止まる単純なものです。しかし、中には血液の病気ということもあるかもしれません。

血液の病気があると、血が固まらないので、長い時間圧迫していてもかさぶたができにくく、なかなか止血できません。大量の出血がある時には、急いで受診をして下さい。

もっとも、もし血液の病気があれば、鼻血以外に、転んでできた傷からの出血が止まらなかったり、少しの打撲でも大きな青あざ（皮下出血斑）ができたりしがちです。

そんなことがなければ、大きな血液の病気を心配することはないでしょう。

## 子どもの鼻血

子どもはよく鼻血を出します。

量が多いととてもビックリすると思いますが、大部分は数分で止めることができます。

ここでは子どもの鼻血について、お話しします。

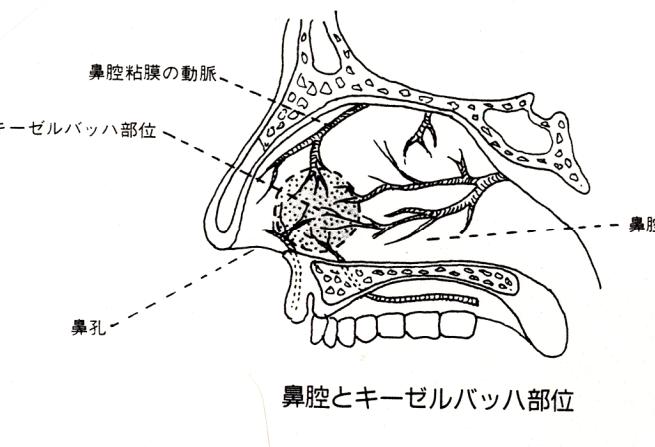


## ●子どもの鼻血

子どもはよく鼻血を出します。ぶつかったあとに出たり、急に出たりもします。真っ赤な血が噴き出すようにでてくるとビックリしてしまいます。

しかし、その多くは鼻の前の方からです。鼻の真ん中にある仕切り（鼻中隔）に、血管の多くのある場所があります（「キーゼルバッハ部位」）が、ここからの出血が大半です。

この場所は鼻に指を突っ込むと指先が届くところですので、子どもが自分でひっかいていることもあります。



## ●鼻血の止め方

鼻血が出たら、まず落ち着かせて座らせます。頭を少し前屈みにして、鼻の先の軟らかい部分を左右からしっかりと押さえます。

数分たったら一度離して、止血できていれば終わり。まだ出血が続くようなら、再度しっかりと圧迫して下さい。

この方法は、大きな子どもは自分でできますので、よく鼻血を出す子にはやり方を覚えさせて下さい。



このような圧迫止血が一番有効です。しかし、とりあえず血液が固まって破れた血管を塞いだだけで、破れた血管が元に戻ったわけではありません。

そのため同じところからまた出血することもよくあります。そのたびに止血をするようにして下さい。